



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 ネクシーズ
 コード番号 4346 URL <http://www.nexvz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 太香巳
 (氏名) 松井 康弘

TEL 03-5459-7444

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,701	△2.0	41	367.1	51	—	318	—
23年9月期第2四半期	3,775	△5.3	8	△89.0	△4	—	△108	—

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 332百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	251.51	—
23年9月期第2四半期	△85.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	7,672	4,961	29.0
23年9月期	7,279	4,462	26.1

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 2,222百万円 23年9月期 1,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	1.1	300	170.2	270	365.8	400	967.1	315.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	1,341,364 株	23年9月期	1,341,346 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	73,610 株	23年9月期	73,610 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	1,267,754 株	23年9月期2Q	1,267,754 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する詳細は、添付資料6ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(その他)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報等	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(7) 重要な後発事象	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国経済の回復や東日本大震災の復興に向けた取り組みが広がったほか、円高修正の一方で株高が進むなど、景気に対する過度な悲観の見方は後退しましたが、依然として欧州諸国の財政不安による世界経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が続いております。GDPの伸び率は、11年10月～12月に0.2%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比△0.2～0.2の間で推移し、2月以降はプラスに転じたものの、依然としてデフレ基調が続いております。

このような状況の下で、当社グループは、回復期を終えて更なる成長を目指す時期に差し掛かっております。そのため、当社では新たな業務や新商材の取り扱いを開始すると同時に、経営資源の最適配分・有効活用を図り、セグメント間のシナジーを迫及することでグループ収益力の更なる強化に努めております。

当社グループの事業の報告セグメントは、ブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の3つに区分されております。

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供および加入希望者の獲得を行っております。

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」等の各種ウェブマガジンの提供のほか、金融商品仲介業務、保険代理店業務等の企業の販売促進に関わる業務を行っております。

文化教育事業では、ハクビ総合学院による、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売が主な業務であります。

ブロードバンド事業においては、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の新規加入希望者の獲得に注力しております。前第2四半期は震災の影響があったものの、当第2四半期においては、ほぼ通常通り営業を行うことができました。

ソリューションサービス事業においては、自社で発刊している旅行ウェブマガジン「旅色」の広告掲載数が増加傾向にある事に加え、クライアント企業向けのウェブマガジン制作業務の受託により安定した収入を得ることができました。また、その他の業務についても好不調はあったものの、概ね堅調に推移しております。

文化教育事業においては、毎年1月～3月は催事・イベントが少ないため、これらの収入も少ない時期となりますが、きもの着付け教室を中心とした授業料収入については堅調に推移しております。

そのほか、第1四半期に当社連結子会社である株式会社ハクビの株式の一部を譲渡したことにより、特別利益465百万円を計上しております。

これらの結果、売上高3,701百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益41百万円（前年同四半期比367.1%増）、経常利益51百万円（前年同四半期経常損失4百万円）となり、四半期純利益は318百万円（前年同四半期純損失108百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

「Nexyz.BB」におきましては、既存のDSL回線に加え、お客様のニーズに応じて光回線の「Nexyz.BB光」、高速ワイヤレスインターネット「Nexyz.BB WiMAX」も提供しております。前第2四半期においては、東日本大震災により営業が中断した一方で、固定費だけが発生する期間がありましたが、当第2四半期においては、通常通り営業を行うことができました。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高1,487百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益17百万円（前年同四半期セグメント損失29百万円）となりました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進を行っております。

ウェブマガジン業務においては、旅行情報を提供するウェブマガジン「旅色」のサイトをより見やすく、内容も充実させてリニューアルいたしました。また、宿泊施設、飲食店、レジャー施設などの広告掲載は引き続き増加傾向にありました。

そのほか、クライアント企業からの業務受託により、ウェディングマガジン「MARIA PREA（マリア・プレア）」、男性向けファッションウェブマガジン「GOODA（グーダ）」、楽天トラベル専用旅行マガジン「旅色Seasonal Style」の新号も制作いたしました。

これにより、自社のウェブマガジン「旅色」の広告掲載料収入の増加に加え、クライアント企業から業務受託収入も得られております。

その他の販売促進支援業務については、好不調はあったものの概ね堅調に推移しております。

一方で、過去に獲得した「Yahoo! BB」や「おとくライン」のサービス契約者が継続利用することで得られる継続手数料は解約による自然減があります。また、業務用食品卸業支援の業務につきましては、平成23年4月より引き続き中断しております。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,016百万円（前年同四半期比15.7%減）、セグメント利益235百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、初心者でも気軽にきもの着付けを受講できる「ぷらっとパスポート」の提供による新規生徒募集の強化や、教室の段階的なリニューアルを続けております。毎年1月～3月は催事・イベントが少ないため、これらの収入も少ない時期となりますが、授業料収入については概ね堅調に推移いたしました。これらの結果、文化教育事業は売上高1,235百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益21百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

a. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,672百万円となり、前連結会計年度末に比べて392百万円の増加となりました。

流動資産は4,299百万円となり、前連結会計年度末に比べて456百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が152百万円、未収入金が61百万円減少した一方で、現金及び預金が122百万円、短期貸付金が400百万円、売掛金が194百万円増加したことによるものであります。

固定資産は3,373百万円となり、前連結会計年度末に比べて64百万円の減少となりました。これは主に、「Nexyz.BB」のサーバー設備の入れ替えに伴う建設仮勘定79百万円が発生した一方で、当社連結子会社の株式会社ハクビ（以下ハクビ）株式の一部売却等に伴いのれんが63百万円、そのほか、投資有価証券36百万円、敷金及び保証金20百万円がそれぞれ減少したことや、固定資産の減価償却があったことによるものであります。

流動負債は2,625百万円となり、前連結会計年度末に比べて87百万円の減少となりました。これは主に、前連結会計年度に発生していた営業所やハクビの校舎移転に伴う現状回復工事の未払金の支払いがあったこと等により、未払金が93百万円が減少したことによるものであります。

固定負債は84百万円となり、前連結会計年度末に比べて19百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が14百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,961百万円となり、前連結会計年度末に比べて499百万円の増加となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

四半期純利益を318百万円計上したことにより、株主資本が318百万円増加いたしました。さらに、ハクビ株式の一部を売却したこと等に伴い少数株主持分が177百万円増加しております。

なお、このほかに当社は、平成24年2月8日付で資本金を3,464百万円、資本準備金を3,305百万円それぞれ減少し、減少した金額をその他資本剰余金に振り替えたのち、さらに全額を繰越利益剰余金に振り替えて欠損填補を行っております。

以上により流動比率は163.7%となり前連結会計年度末比22.1ポイント増加いたしました。株主資本比率は、29.0%となり前連結会計年度末比2.9ポイント増加いたしました。時価ベースの株主資本比率は33.7%となり前連結会計年度末比0.8ポイント低下いたしました。

b. キャッシュ・フロー分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は1,635百万円となり、前連結会計年度末残高1,512百万円と比べて122百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は66百万円（前年同四半期は222百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益507百万円、減価償却費及びその他の償却費90百万円を計上した一方で、売上債権の増加額194百万円、営業活動には起因しない調整項目として関係会社株式売却益465百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は207百万円（前年同四半期は138百万円の支出）となりました。これは主に、貸付による支出400百万円、有形固定資産の取得による支出108百万円があった一方で、関係会社株式の売却による収入693百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は18百万円（前年同四半期は45百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出14百万円、少数株主への配当金の支払額13百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の各事業の取り組み、業績予想については、以下のとおりであります。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力すると同時にサービスの拡充やプランの見直し等を行っております。

今後の成長基盤を確立するため、平成25年度の新卒採用のインターンを中心に当第3四半期から人員を増員し営業体制を強化していく予定であります。これにより、一時的に人件費の先行が見込まれるものの、中長期的には安定したISP料金収入に加えて、契約獲得時にインフラ提供会社から得られる受付手数料が増加する見込みであります。

また、多様化するブロードバンドサービスの拡大に対応し、業務効率の向上を図るため、平成24年4月1日付で連結子会社2社（株式会社Nexyz.BBと株式会社ネクシィーズ・コミュニケーションズ）を合併いたしました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、ウェブマガジン業務において、引き続き旅行ウェブマガジン「旅色」への広告掲載の受注や業務受託によるウェブマガジン制作を行ってまいります。広告掲載においては、既存顧客の増加に伴い年間契約の更新数も増加し、業績が安定拡大傾向にあります。

その他の販売促進支援業務については、好不調はあるものの概ね堅調に推移する見込みであります。今後は事業全体において、さらに新たな企画や関連業務を充実させ、業容拡大を図ってまいります。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室の運営による安定した収入と、季節や時期に応じたイベントや展示会による臨時的な収入が見込まれます。教室の段階的なりニューアルや、わかりやすい料金体系で着物がなくても着付けが受講できる「ぷらっとパスポート」の提供を引き続き行い、生徒数の維持拡大に向けて取り組んでまいります。

なお、同事業では第4四半期会計期間（7月～9月）に展示会等の催事が重なるため収益の大半が集中することが見込まれます。

この結果、通期でのグループ全体の損益は、売上高7,500百万円、営業利益300百万円、経常利益270百万円、当期純利益400百万円を予想しております。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 追加情報

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,997	1,635,640
売掛金	1,010,728	1,205,676
商品	108,758	105,946
未収入金	590,711	529,584
その他	651,935	855,618
貸倒引当金	△32,786	△33,423
流動資産合計	3,842,345	4,299,042
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	216,334	191,519
その他(純額)	235,532	317,195
有形固定資産合計	451,867	508,715
無形固定資産		
のれん	190,755	127,575
その他	192,538	185,129
無形固定資産合計	383,293	312,704
投資その他の資産		
投資有価証券	1,889,752	1,853,574
敷金及び保証金	411,047	390,069
その他	381,544	388,488
貸倒引当金	△80,111	△80,265
投資その他の資産合計	2,602,233	2,551,867
固定資産合計	3,437,394	3,373,287
資産合計	7,279,739	7,672,329
負債の部		
流動負債		
買掛金	293,223	325,484
短期借入金	1,200,000	1,200,000
未払金	682,768	589,734
解約調整引当金	212,193	141,005
その他	325,491	369,518
流動負債合計	2,713,678	2,625,743
固定負債		
その他	103,770	84,697
固定負債合計	103,770	84,697
負債合計	2,817,448	2,710,440

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,660	1,189,156
資本剰余金	4,439,468	1,134,423
利益剰余金	△6,828,638	259,762
自己株式	△339,926	△339,926
株主資本合計	1,924,564	2,243,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,763	△21,414
その他の包括利益累計額合計	△23,763	△21,414
新株予約権	—	398
少数株主持分	2,561,488	2,739,486
純資産合計	4,462,290	4,961,889
負債純資産合計	7,279,739	7,672,329

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	3,775,835	3,701,709
売上原価	2,262,338	2,227,609
売上総利益	1,513,496	1,474,099
販売費及び一般管理費	1,504,625	1,432,656
営業利益	8,871	41,443
営業外収益		
受取利息	7,530	1,206
持分法による投資利益	5,008	—
投資事業組合運用益	—	6,683
その他	6,204	9,409
営業外収益合計	18,744	17,300
営業外費用		
支払利息	1,863	3,185
持分法による投資損失	—	4,470
投資事業組合運用損	27,604	—
その他	2,354	52
営業外費用合計	31,822	7,708
経常利益又は経常損失(△)	△4,206	51,034
特別利益		
過年度損益修正益	59,527	—
関係会社株式売却益	37,570	465,348
その他	—	2
特別利益合計	97,097	465,351
特別損失		
固定資産除却損	456	8,695
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,244	—
事業所移転費用	5,750	595
その他	33,704	38
特別損失合計	97,154	9,329
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,263	507,056
法人税、住民税及び事業税	39,500	24,751
法人税等調整額	52,966	152,057
法人税等合計	92,466	176,808
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,729	330,248
少数株主利益	11,798	11,395
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108,528	318,852

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△96,729	330,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	2,349
その他の包括利益合計	△166	2,349
四半期包括利益	△96,895	332,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,694	321,201
少数株主に係る四半期包括利益	11,798	11,395

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,263	507,056
減価償却費及びその他の償却費	107,343	90,622
のれん償却額	5,424	5,612
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△63,534	△71,188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,139	790
受取利息及び受取配当金	△7,530	△1,206
支払利息	1,863	3,185
持分法による投資損益(△は益)	△5,008	4,470
投資事業組合運用損益(△は益)	27,604	△6,683
関係会社株式売却損益(△は益)	△37,570	△465,348
固定資産除却損	456	8,695
事業所移転費用	5,750	595
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,244	—
売上債権の増減額(△は増加)	28,854	△194,948
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,609	14,848
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,219	32,261
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,100	14,489
その他	△134,757	△6,504
小計	△30,914	△63,252
利息及び配当金の受取額	7,530	754
利息の支払額	△3,430	△2,541
法人税等の支払額	△51,066	△1,174
供託金の支払額	△145,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△222,881	△66,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△450,000	△400,000
貸付金の回収による収入	650,000	—
関係会社株式の売却による収入	55,375	693,209
投資有価証券の取得による支出	△308,542	—
出資金の分配による収入	—	40,740
有形固定資産の取得による支出	△42,988	△108,180
無形固定資産の取得による支出	△36,862	△11,654
長期前払費用の取得による支出	△3,993	△3,993
その他	△1,146	△3,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,157	207,096

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	72,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△14,400
社債の償還による支出	△40,000	—
配当金の支払額	△155,484	—
少数株主への配当金の支払額	△30,600	△13,729
その他	△509	9,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,405	△18,240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△315,633	122,642
現金及び現金同等物の期首残高	2,592,754	1,512,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,277,121	1,635,640

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブロード バンド事業	ソリューショ ンサービス 事業	文化教育 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,397,104	1,189,935	1,188,796	3,775,835	—	3,775,835
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,679	16,390	29,047	47,117	△47,117	—
計	1,398,783	1,206,325	1,217,843	3,822,952	△47,117	3,775,835
セグメント利益 又は損失(△)	△29,700	294,764	27,052	292,116	△283,244	8,871

(注) 1. セグメント利益の調整額△283,244千円には、セグメント間取引消去359千円、各報告セグメントに配分していない全社収益108,156千円、全社費用△386,336千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△5,424千円が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブロード バンド事業	ソリューショ ンサービス 事業	文化教育 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,479,952	1,001,140	1,220,617	3,701,709	—	3,701,709
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,626	15,459	15,166	38,252	△38,252	—
計	1,487,578	1,016,599	1,235,783	3,739,961	△38,252	3,701,709
セグメント利益	17,519	235,545	21,625	274,690	△233,247	41,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△233,247千円には、セグメント間取引消去244千円、各報告セグメントに配分していない全社収益106,347千円、全社費用△334,226千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△5,612千円が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月8日付で、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が3,464,503千円、資本準備金が3,305,044千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,189,156千円、資本剰余金が1,134,423千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。